

これからの次世代学術認証

坂根 水元 佐藤

2024-06-12 14:30—16:00

関係するタグ(#IAL/AAL #認証器レジストリ #Orthros #グループ管理)

認証事業は何のために（確認）

- 自分の（研究）データの安全な管理ができる
 - 研究データ管理基盤
 - 即時OA
- 開放されたインターネット上のリソースをセキュアに利用できる
 - 高度データ資源、計算資源の開放
 - 共同研究におけるデータの相互利用（グループ管理）
- ...
- そのためのID管理基盤を作りましょう (IAL/AAL)
 - 作ったら連携しましょう (フェデレーション)
 - できなければ、助けを借りましょう (ホスティング)
 - できるだけ多くの人をカバーできるようにしましょう (Orthros、グループ管理)

IdPは何のために（確認）

- フェデレーションにおいては
 - サービス提供者（SP）に、「自分のことを信頼してもらおう」ことが本質的
 - 学内サービスであっても、IdPの情報を信頼することがスムーズなサービス提供のために必要（学内に閉じているから意識しづらくなっているかもしれない）
 - 研究データ基盤等を安心して使うためには
 - ID管理基盤がしっかりしていて、有資格者のみが利用できるようになっていることが保証されていること
 - 本人確認（Authentication）において、アカウント詐取が起きないように、認証器の運用管理がなされている
 - ことを**SPが認める**ことが必要です
 - 学認は、トラストフレームワークとして、このプロセスを合理的に管理しています（共通ポリシーの策定、運用状況調査の実施←IdPとSPの1対1の交渉を不要にする）

NII全認証事業について

- **学認**

- 運用作業部会
- トラスト作業部会
- 図書館系サービス作業部会
- **次世代認証連携検討作業部会**

- **UPKI**

- **eduroam**

- **IAL/AAL**
- **認証器レジストリ**
- **IdPホスティング**
- **Orthros**
- **グループ管理**

このセッションの内容

14:30—15:15

- IAL/AAL
- 認証器レジストリ

- パネル
 - 坂根 水元 佐藤 (司会)

15:15—16:00

- Orthros
- グループ管理

- パネル
 - 坂根 西村 古村 山本